

平成25年度文化庁委託事業

「国語に関する世論調査」を基にした動画作成業務

「ことば食堂へようこそ！」

他山の石

映像台本

4分40秒

※ この台本は、撮影時に使用したのですが、アドリブ等が加わっているため、実際の動画の台詞とは一部異なっているところがあります。また、台本という性格上、公用文式の表記と一致しない部分があります。

他山の石

小学校授業研究会/提案教員：森下 じんせい 参加教員 川原田 樹

映 像	カット	音 声
プロローグ		
<p>1 スタジオ・ことば食堂</p> <p>・解説者：シェフあかり 話し始める</p> <p>・本日のメニューを書く 顔・手元</p> <p>・書き終わって、コメント</p> <p>・タイトル（ボードの手書き文字）</p> <p>・本日のメニュー</p> <p>『他山の石』</p>		<p>♪コミカルな音楽</p> <p>解説者</p> <p>「ことば食堂へようこそ！</p> <p>当店では、言葉の本来の意味を御提供しております。</p> <p>皆さん、知っているようで、知らないって言葉って、結構あるんじゃないですか？</p> <p>本日のメニューはこちら</p> <p>『他山の石』。」</p>
スキット		
<p>2 スタジオ・教室</p> <p><小学校授業研究会</p> <p>授業提案教員と参加教員の会話></p> <p>・教卓に立つ提案教員</p> <p>後方で授業を見学している参加教員</p>		<p>◆授業終了を知らせるチャイムの音</p> <p>提案教員「はい、では、時間となりましたので</p> <p>これで授業を終わります。」</p> <p>参加教員「(拍手をしながら提案教員に近づく) いやー</p> <p>先生、授業を参観させていただいて、ありがとうございました。</p> <p>本当に参考になる授業でした。」</p> <p>提案教員「いえ、いえ、そんな、おだてないでください。」</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・提案教員の頭上に、頭に来た様子の湯気が湧く ・参加教員の頭上に？マーク 	<p>参加教員「本当に、こんなに引き込まれる国語の授業は見たことはありませんでした。」</p> <p>提案教員「そうですか。」</p> <p>参加教員「わたしは、日頃の授業で、生徒の関心を引き付けるために、苦心していたので、先生の授業を見ていろいろなことに気付かされました。」</p> <p>提案教員「そうですか、まあ、お役に立ててよかったです。</p> <p>今度は、先生の授業を参観させてください。」</p> <p>参加教員「はい！是非見ていただけるよう、先生の教えを他山の石として頑張っていきます。」</p> <p>提案教員「えっ？」</p> <p>参加教員「あっ、先生の授業を他山の石として頑張っていると思います。」</p> <p>提案教員「そうですか…。</p> <p>(ムツとしてその場からいなくなる)</p> <p>参加教員「せ、先生、どうしたのですか？…」</p>
---	--

解説

3 スタジオ・解説者

- ・画面左で解説者：シェフあかりが話す
- ・解説者の横にメニューが出る

他人の良い言行は自分の行いの手本となる

る

他人の誤った言行も自分の行いの参考となる

なる」と書いてある

・他人の誤った言行も自分の行いの参考となる

なる」を強調

解説者「『他山の石』とは本来、『他人の良い言行は自分の行いの手本となる』という意味でしょうか？

それとも『他人の誤った言行も自分の行いの参考となる』という意味でしょうか？」

解説者「『他山の石』とは、本来『他人の誤った言行も自分の行いの参考となる』という意味です。」

<p>4 写真付きイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人の良い言行は自分の行いの手本となる 18. 1% 他人の誤った言行も自分の行いの参考となる 26. 8% <p>グラフで年代差を示す</p>	<p>解説者「平成16年度の『国語に関する世論調査』では、本来の意味で理解している人の割合の方が多かったのですが、16歳から19歳では、本来の意味で理解していない人の割合が、理解している人を上回っていました。」</p>
<p>5 解説者の右横にCG文字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『よその山から出た粗悪な石も自分の宝石を磨くのに利用できる』→『他人のつまらぬ言行も自分の人格を育てる助けとなる』 ・『他山の石』 よその山の石 知識 日常生活での使用 ・グラフ ・ボード文字 『他山の石』 『他人の誤った言行も自分の行いの参考となる』 	<p>解説者「『他山の石』は、中国最古の詩集『詩経』にある古いお話に由来する言葉です。『よその山から出た粗悪な石も自分の宝石を磨くのに利用できる』ということから『他人のつまらぬ言動や行動も自分の人格を育てる助けとなる』という意味で使われてきました。」</p> <p>解説者「しかし、『他山の石』は、文字だけを見ると『よその山の石』と読み解けるだけですから、知識で補わない限り理解することが難しいようです。」</p> <p>解説者「このように表面的な文字からだけでは分かりにくい上、日常生活で余り使われなくなったことから、本来とは違う『他人の良い言動や行動は自分の行いの手本となる』と解釈するの方が多かったり、言葉そのものの意味が『分からない』という人が、多くの年代で20%~30%に上ったりしているのでしょう。」</p> <p>解説者「『他山の石』。その本来の意味は、『他人の誤った言行も自分の行いの参考となる』ことです。」</p>
<p>6 スタジオ・ことば食堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解説者の右 ワイプ画面内 教室で参加教員が考え込んでいる ・解説者 正面を向き困った表情で苦笑い 	<p>参加教員「『他山の石』とまで言って、先生のことを持ち上げすぎたのが、悪かったのかな…」</p> <p>解説者「…（笑顔でいる）。」</p> <p style="text-align: right;">END</p>